

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 全体的に基礎的な知識や技能は定着率が高いが、個人差がある。 <指導上の課題> 個に応じた指導をして、学力の底上げをする必要がある。そのための時間を捻出することも必要と考える。	⇒ 授業の最初に、前時の振り返りをし、知識や技能の復習をする時間を確保する。【毎時間】 ICT教材、漢字ドリル、計算ドリル等を活用し、課題の見える児童への個別支援をし、苦手を克服できるようにする。【単元ごと】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 答えはわかっているものの、自分の言葉で説明する力に課題がある。 <指導上の課題> 学習過程の中で、協働的な学びの時間を意図的に設定していく必要がある。児童同士で説明をし合う場面を作れるような授業展開を充実させたい。	⇒ ICTを効果的に活用し、意図的に協働学習の機会を取り入れていく。【単元に1度】 一斉指導で共有する前に、児童同士で考えを話し合い、それをもとに共有、まとめ、振り返りにつなげていく学習の流れを設定していく。【思考を評価する授業において】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	結果提供(2月)
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告 結果提供(7月)
思考・判断・表現	調査結果分析(7～8月) ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 夏季休業明け

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)